

第47回 鳥取市文化賞受賞者

はなふさ むつこ
花房 睦子〔文芸（詩）〕



【受賞理由】

幼いころから詩が好きで、気が付いたら詩を書いており「文学少女」と呼ばれていた。小学6年生の時、講談社発刊の「月刊少女クラブ」詩の部に投稿し、最優秀賞を受賞した。50年以上続く詩誌「菱」同人。また、日本海新聞「詩壇」の選者を15年務めるとともに、「鳥取文芸」など様々な選者として活躍している。平成元年より、一般社団法人日本詩人クラブ会員。

作品は、女性特有の繊細でナイーブなものとなっており、どの詩も言葉を見つめ、自身の経験や見てきたことを深い精神性で表現している。

【経歴】

昭和45年 現代詩「菱の会」同人。のち33号より編集委員 現在214号。

昭和55年 「開花期」同人。その後「舟」にも同人となる。

昭和57年 鳥取市より「とっとり市報」の表紙にと花の詩を同人各位に依頼される。

平成9年～平成12年 朝日新聞鳥取版「文学書評」を担当。

平成10年 鳥取県現代詩人協会理事。

平成12年～令和3年 中四国詩人会理事。第19回中四国詩人賞選考委員。

平成17年～令和3年 日本海新聞「日本海詩壇」選者。

平成22年 中四国詩人会鳥取大会開催。

平成27年 鳥取県現代詩人協会交流会で「日本海詩壇あれこれ」を講演。

平成30年 「鳥取文芸」詩部門選者。令和2年より「倉吉文芸」詩の部選者。現代に至る。

令和元年 一般社団法人「日本詩人クラブ」会員。

令和2年～令和4年 「とっとり詩人」40.41.42号発行。

【受賞歴】

平成18年 福井文芸祭にて作品「燠(おき)」提出入選。

平成25年 第2詩集「水灯り」出版、「白鳥省吾賞」最終候補になる。

令和2年 花話会主催編集「日本の詩人432人の詩姿の原点(3章)」に選ばれる。

【主な活動】

昭和56年 第1詩集「鳥の空」出版。

平成24年 共著「とっとり詩集」発行現在9集。

平成25年 第2詩集「水灯り」出版。

平成29年～令和2年 「中四国詩集」共著

令和2年 面影小学校にて2年生に「詩の話」で教鞭を執る。

令和3年 第3詩集「石の中の森」出版。

令和3年11月 県詩人協会主催「詩の書展」4回展 ギャラリー夏色にて。

【活動に対する思い】

「詩とは何か」この事を私は常に考えていたはずなのに、身辺雑記や日々の感慨「あったこと」「やったこと」から抜け出せないでいる。いま一度信条としている「経験の総体」の深さに帰るべき思いでいます。

現況をしっかりと観察し、交じわることや思考に支えられていく詩を書きたいと思います。今や経験から離れていかない立ち位置が大切だからです。

【現在】

「中四国詩集」理事

「詩界」日本詩人クラブ会員

「とっとり詩集」鳥取県現代詩人協会理事

「倉吉文芸」選者